

報道関係各位

ヒビノ株式会社

〒108-0075 東京都港区港南 3-5-14
<https://www.hibino.co.jp/>

2021年5月13日

超高精細 LED ディスプレイの大画面を背景に仮想空間で撮影ができる インカメラ VFX スタジオ「Hibino VFX Studio」のレンタルサービスを開始

コンサート・イベント大型映像サービスのヒビノ株式会社（本社：東京都港区、代表取締役社長：日比野晃久）は、超高精細 LED ディスプレイの大画面を背景に、仮想空間での撮影をリアルタイムで実現するインカメラ VFX の機能を備えたバーチャルプロダクションスタジオ「Hibino VFX Studio」のレンタルサービスを2021年7月1日（木）より開始いたします。ヒビノ日の出ビル（東京都港区海岸 2-7-70、新交通ゆりかもめ日の出駅から徒歩1分）にてご利用いただけるほか、外部の撮影スタジオに全システムを搬入・設置しオペレートを行う出張に対応可能です。映画、CM、ドラマなどあらゆる映像制作にインカメラ VFX 技術を提供いたします。



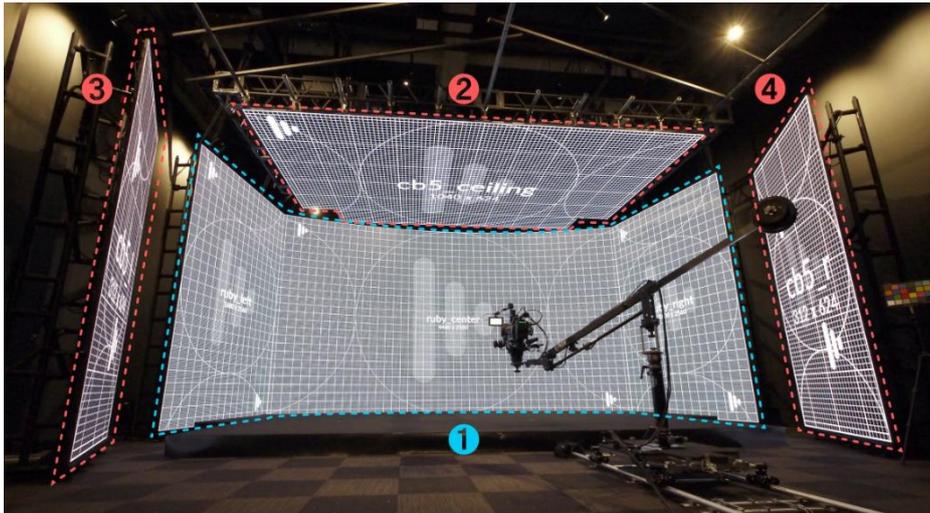
「Hibino VFX Studio」は、インカメラ VFX に必要な設備を備えるバーチャルプロダクションスタジオです。

バーチャルプロダクションとは、高度なデジタル技術を活用した撮影技法の総称です。中でもインカメラ VFX は、スター・ウォーズ初の実写ドラマシリーズ「The Mandalorian（マンダロリアン）」に用いられ、完成度の高さから世界の映画関係者の脚光を浴びました。

インカメラ VFX は、LED ディスプレイ・システム、カメラトラッキング・システム、リアルタイムレンダリングを組み合わせた撮影技法です。背景となる高精細 LED ディスプレイに 3DCG 等で制作した情景を投影し、同期させたカメラで撮ることで、仮想空間での撮影をリアルタイムに実現します。LED ディスプレイが描く仮想世界に、人や道具など現物の被写体、さらに、天井や側面の環境照明用 LED ディスプレイが被写体に及ぼす光の効果が、カメラ内でリアルタイムに融合し、最終的な視覚効果を生成することからインカメラ VFX（VFX = Visual Effects の略）と呼ばれます。

ヒビノでは、The Mandalorian の撮影に用いられた LED ディスプレイのアップグレードモデルである ROE Visual 社の新製品 1.56mm ピッチ「Ruby1.5F」を世界に先駆けて導入。超高精細 LED ディスプレイを背景に仮想空間で撮影ができる「Hibino VFX Studio」のレンタルサービスを7月1日より開始いたします。

● LED ディスプレイ・システム



① 撮影エリア
ROE 「Ruby1.5F」
全長12m×高さ4m
W7,680×H2,560 pixels

② 環境照明・天井
ROE 「Carbon5」
幅6m×奥行3.6m
W1,040×D624 pixels

③④ 環境照明・側面
ROE 「Carbon5」
幅1.8m×高さ3.6m
W312×H624 pixels

撮影エリアのLEDディスプレイは、反射のないマットな表面と色再現能力に優れた Flip Chip LED を採用した ROE の 1.56mm ピッチ超高精細 LED ディスプレイ 「Ruby1.5F」 を世界に先駆け採用しました。8K スーパーハイビジョン放送の基準となる色域規格 Rec. 2020 85% に近い色空間を実現します。

天井と側面の環境照明用 LED ディスプレイは、ROE の高輝度 5,000cd/m² の 5.77mm ピッチ 「Carbon5」 を採用しました。空の青さや炎の揺らめきといった環境光を再現し、情景が被写体に及ぼす光の効果を演出。映像にリアルな質感をもたらします。



● インカメラ VFX メインシステム

メディアサーバーは、メインとなる disguise「vx4」及びレンダリング専用サーバー「rx」を採用。Unreal Engine（アンリアルエンジン）*1 で生成された 3DCG を rx でリアルタイムレンダリングを行い、vx4 で書き出す構成です。出力ノードとレンダリングノードを完全に分離することで、出力ノードである vx4 の性能を最大限に発揮させ、完全に同期した 4K 解像度の映像を 4 出力可能にしました。また、カメラトラッキング・システムは、業界標準の stYpe 社「RedSpy」を採用しております。



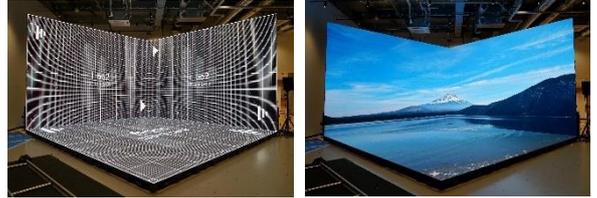
(*1) Unreal Engine は、Epic Games が提供する 3DCG のプラットフォームです。元はゲームのために作られた開発環境ですが、現在は建築設計や広告、映像制作などあらゆる分野のクリエイターに活用されています。

● オペレーション体制

メインシステムのオペレーションは、最新映像技術に精通するヒビノの映像オペレーターがサポートいたします。シンプルなシステム構築により、最小2名からのオペレーションを可能としました。豊富な運用ノウハウで、お客様のご要望、シチュエーションに広範囲に対応いたします。

● 話題のXRステージに変更可能

スタジオセットは、壁2面と床面をLEDディスプレイで構成するXRステージへの組み替えが可能です（XRは、VR、AR、MRなど仮想空間技術の総称）。配信ライブ等へ、現実世界と仮想世界を融合させた新しい映像体験を提供いたします。



● 外部スタジオへの搬入・設置、オペレートが可能

Hibino VFX Studioは、ヒビノ日の出ビル（東京都港区海岸2-7-70）にてご利用いただけるほか、お客様ご指定の撮影スタジオへ全システムを搬入・設置しオペレートを行う出張に対応いたします。

開発背景

ヒビノは、大規模コンサートを中心に展示会や企業イベント、コンベンション、スポーツイベント、博覧会など様々なイベントへLEDディスプレイをはじめとする大型映像システムと運用サービスを提供しております。国内で新型コロナウイルスの感染が拡大した2020年春、他の業界に先駆け中止や延期を決定したのがコンサート・イベント業界でした。エンターテインメントの約束でもある安全を守るため、社会変容に応じたライブの形が模索されています。このような状況の中、ヒビノは、保有する最新鋭の映像システムを活用し、新たな価値を生み出すことを目的に、LEDディスプレイ・システム及びカメラトラッキング・システムを活用したXRステージの運用を開始しました。現実世界と仮想世界を融合させた新しい映像体験は、数々の著名アーティストの配信ライブに採用されています。このXR技術を進化させ構築したのがインカメラVFXに対応する「Hibino VFX Studio」です。The Mandalorianの配信以降、インカメラVFXは国内でも話題を呼びましたが、大規模な映像設備が必要となる専用スタジオの設置は、まだ少ないのが現状です。Hibino VFX Studioの提供により、インカメラVFX技術を駆使した国内映像作品の創出をサポートしてまいります。今後もヒビノでは、当社が保有する様々な最新映像システムやデジタル技術を用いて、次世代の映像演出を提供するとともに、ライブエンターテインメント業界、イベント業界はもとより映像制作業界の皆様の課題解決に尽力してまいります。

Hibino VFX Studioのオープンハウスを開催

7月1日のサービス開始に先立ち、6月2日（水）から4日（金）までの3日間、オープンハウスを開催いたします。ぜひこの機会にHibino VFX Studioが提供するインカメラVFXをご体験ください。

なお、密を避けるため、ご来場は予約制とさせていただきます。また、今後の新型コロナウイルス感染症の状況変化によって、開催を延期させていただく可能性がございます。何卒ご了承ください。

Hibino VFX Studio及びオープンハウスに関しましては、ヒビノ株式会社 ヒビノビジュアル Div. までお問い合わせください。

以上

本リリースに関するお問い合わせ	【お客様からのお問い合わせ】 ヒビノビジュアル Div. E-mail : VFXstudio@hibino.co.jp TEL : 03-5419-1611 FAX : 03-5419-1612 【報道関係者様からのお問い合わせ】 ヒビノ GMC 経営企画グループ 広報課 E-mail : ir@hibino.co.jp TEL : 03-3740-4391 FAX : 03-3740-4390
-----------------	---